

## KHネオケムのアスリート支援



Photo : Aflo Sport

当社は2018年、ショートトラック・スピードスケートの菊池萌水(もえみ)選手と所属契約を締結し、2022年北京五輪でのメダル獲得という目標を全力でサポートしています。

2019年11月29日から12月1日に行われたワールドカップ第3戦名古屋大会では、当社グループの有志従業員が応援に駆けつけ、世界に挑戦する菊池選手の姿を間近で感じることができました。当社も菊池選手とともに、「世界で輝くスペシャリティケミカル企業」に向けて、挑戦を続けてまいります。

# Challenge

KH NeoChem × Moemi Kikuchi

ショートトラック・スピードスケート  
JOC 強化指定選手

## 世界に挑戦する 菊池萌水選手



Photo : Aflo Sport

**KH NeoChem** KHネオケム株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-3-1 室町古河三井ビルディング  
TEL 03-3510-3550

本冊子に記載されている将来に関する記述は、現在までに入手可能な情報に基づく前提や予測等を含んでおり、当社として確約や保証を行うものではありません。  
これらの情報は、今後の様々なリスクや不確実な要素により大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おください。



# KH NeoChem

## 第10期 株主通信

2019年1月1日～2019年12月31日

東証第一部 4189

この表紙の写真は 当社 四日市工場の製造プラントです。

# KHネオケム株式会社



# トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第10期(2019年1月1日から2019年12月31日まで)における事業のご報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

代表取締役社長 **高橋理夫**



当社グループの当期の業績につきましては、基礎化学品が厳しい海外市況の影響を受けたことに加え、需要の減少や製造設備の不具合が発生したこと等から、売上高942億9百万円(前期比6.9%減)、営業利益95億59百万円(同12.0%減)、経常利益98億96百万円(同11.6%減)と減収減益となりましたが、前期に計上していたイソノニルアルコールプロジェクト中止に伴う特別損失が当期においてはなかったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は69億17百万円(同2.7%増)と増益となりました。

2019年度の期末配当金につきましては、連結業績や財務状況を総合的に勘案し、1株当たり30円とさせていただきます。これにより中間配当金(1株当たり30円)と合わせた年間配当金は昨年度より6円増配の1株当たり60円となります。

また、2020年度の業績予想につきましては、売上高は993億円(当期比5.4%増)と増収を予想しております。

すが、製造設備の大規模定期修繕を実施すること等から、営業利益は90億円(当期比5.9%減)と減益を予想しております。

厳しい経営環境下ではありますが、当社は、2019年度を初年度とする第3次中期経営計画で掲げた「新設備の稼働等による収益拡大」・「将来の機能化学品事業拡大に向けた積極投資」・「ビジネス基盤の強化」の3つの基本戦略を着実に推し進めるとともに環境の変化に迅速・柔軟に対応し、VISION 2030実現への歩みを進めてまいります。

株主の皆様には、今後もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年3月

1株当たりの年間配当金 **60円**

# 連結業績ハイライト

## 連結業績のポイント

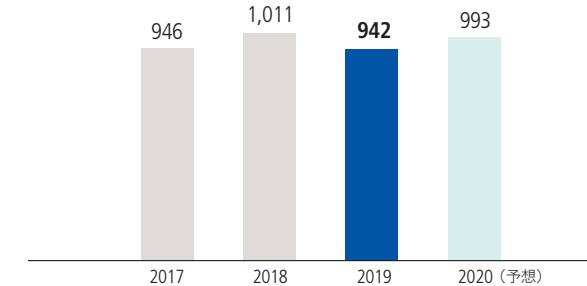
### 2019年度の連結業績

- 米中貿易摩擦による需要減少や市況軟化等により減収・減益。
- 前期に計上していた特別損失が当期にはないことから純利益は増益。

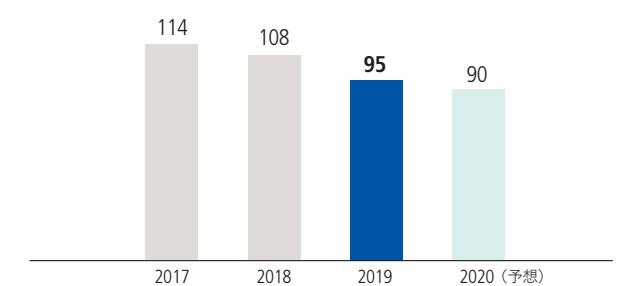
### 2020年度の連結業績予想

- 機能性材料の新プラント稼働等により増収を予想。
- 大規模定期修繕等の製造固定費の増加等によって減益を予想。

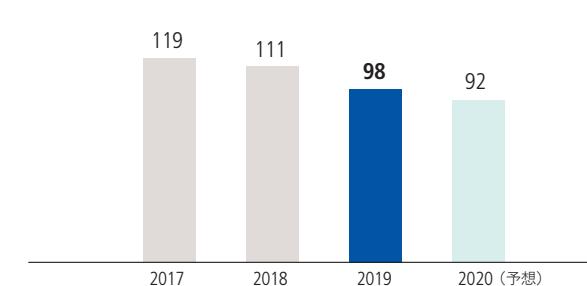
## 売上高 (億円)



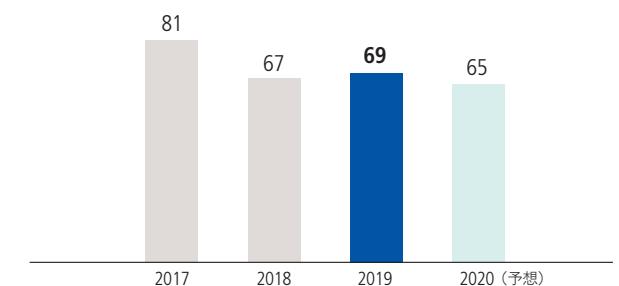
## 営業利益 (億円)



## 経常利益 (億円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

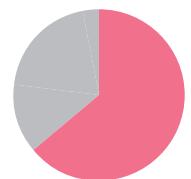


# 事業分野別情報

当社の化学品素材は、エアコンに使用される冷凍機油原料やスキンケア製品をはじめ、プラスチックに柔軟性を付与する可塑剤や、塗料、接着剤に使われる溶剤等、様々な製品の原料として使われています。皆様の身近なところにも当社の化学品素材が使用されている製品がたくさんあります。

## 機能性材料

売上高 **374億45** 百万円(前期比4.9%減) 営業利益 **81億7** 百万円(前期比2.0%増)



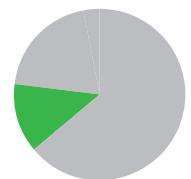
営業利益  
構成比率  
**64%**

ユニークな構造・物性を有する当社の機能性材料は、化粧品や家庭用洗剤等の日用品、地球環境に配慮したエアコンの冷凍機油等に幅広く使用されています。



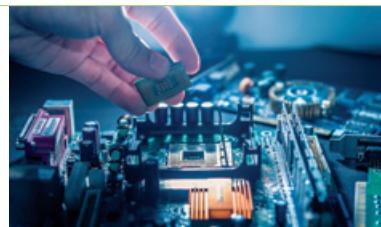
## 電子材料

売上高 **112億99** 百万円(前期比4.1%減) 営業利益 **16億46** 百万円(前期比6.4%減)



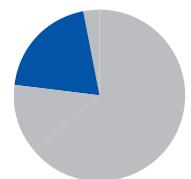
営業利益  
構成比率  
**13%**

スマートフォンやパソコン等の電子機器内にある半導体は、機器の小型化や高性能化の鍵を握ります。当社では、優れた半導体づくりに欠かせない素材をつくっています。



## 基礎化学品

売上高 **444億61** 百万円(前期比9.9%減) 営業利益 **25億32** 百万円(前期比34.1%減)



営業利益  
構成比率  
**20%**

可塑剤の原料や溶剤として使用され、豊富な製品ラインナップを取り揃えています。用途分野も多様で自動車産業をはじめとした国内外の様々な産業を支えています。



※当社グループでは、上記の3事業以外に「その他」がありますが、営業利益構成比率が3%とわずかであるため記載を省略しております。  
※上記の3事業における「営業利益」の算出に当たっては、全社に共通する管理費用等を配分していません。

# 中期経営計画の取組み

## 第3次中期経営計画「新たな挑戦」

当社グループは、小さいけれど知的で俊敏、独自性に優れた競争力ある製品を提供している「世界で輝くスペシャリティケミカル企業」を目指す姿とするVISION 2030を2018年11月に策定しました。2019年度を初年度とする3カ年の第3次中期経営計画「新たな挑戦」を皮切りに、3年毎の中期経営計画を2030年まで着実に推進していくことで、VISION 2030実現を確かなものにしていきたいと考えています。

### 2019年度の取組み状況

本中期経営計画では「新設備の稼働等による収益拡大」、「将来の機能化学品事業拡大に向けた積極投資」、「ビジネス基盤の強化」の3つの基本戦略を掲げており、2019年度には以下のような各種施策を推進いたしました。

#### 3つの基本戦略

#### 2019年度的主要な取組み成果

戦略  
I

新設備の稼働等による  
収益拡大



中長期的な利益成長に貢献する環境配慮型エアコンの冷凍機油原料の新プラントを建設。

戦略  
II

将来の機能化学品事業  
拡大に向けた積極投資



オープンイノベーションによる新事業創出に向けた新研究拠点KH i-Labを開設。

戦略  
III

ビジネス基盤の強化



高度制御システムの導入拡大により生産効率の向上と運転員の負担軽減を実現。

# トピックス



中期経営計画 ～将来の機能化学品事業拡大に向けた積極投資～

## 新研究拠点 KH i-Lab 開設!



### 持続可能な社会を実現するためのソリューションを提案します

長期ビジョンの実現に向けて、本社研究開発部門や研究所とは独立した組織を立ち上げました。その拠点として開設したのがKH i-Labです。

当社のコア技術や主力製品の紹介に加えて、当社がオープンイノベーションでかなえたい未来に向けた夢を社外の方々と共有し、様々な社会課題に対するソリューションを提案する場として活用していきます。

## インタビュー

### KH i-Lab開設の最大の目的は

## 「マーケットとの距離感を縮めること」



取締役 研究開発本部長 磯貝幸宏

### Q. なぜ、AIRBICに新たな拠点を開設したのでしょうか？

KH i-Lab開設の最大の目的は「マーケットとの距離感を縮めること」にあります。顧客や市場の視点で課題を積極的に調査し、新事業を生み出し続ける体制の構築を目指しています。AIRBICには、様々な業種の企業、大学・研究機関が集うため、日々、最新の技術の価値について議論することができ、イノベーションを加速させる最適な環境が整っています。

さらに、JR新川崎駅付近に位置していることから、関東大都市圏からのマーケット情報や顧客ニーズに対し、素早く対応するのに適した立地でもあります。加えて、東京の本社や各工場からのアクセシビリティが良いこともAIRBICを拠点にした理由です。また、好立地な開発拠点を開設することで、優秀な人材を確保することにも繋がると考えています。

### Q. どのような市場をターゲットに研究開発を行うのでしょうか？

ESGやSDGsに関する企業の取組みが強化される中でマーケットニーズを迅速にくみ取り、「ヘルスケア」や「ホームケア用品」、「生分解性・バイオプラスチック」等における社会課題解決型の研究開発を推進していきます。

また、当社の製造技術のコアとなっている「オキソ反応」についても新たな事業機会の創出を進め、自社製品へ応用することで、天然由来原料等、今後期待される分野に新製品を供給できるよう、技術力に磨きををかけていきたいと考えています。



# 社員紹介



## Q. 今回のプロジェクトの概要について教えてください。

このプロジェクトは、既存製品の増産に向けて新たな製造プラントを建設する大規模なプロジェクトでした。この製造設備は、当社の主力製品のひとつで

もある冷凍機油原料を生産するプラントで、2017年の夏に設計を始めてからプラント完成まで約2年半を要しました。

## Q. それだけ大きなプロジェクトであれば、苦労したこともあったのではないですか？

大規模な建設工事なので、多くの協力会社の方が一斉に作業を行います。そのため、建設現場の安全が確保できるように監督しなければなりません。加えて、建設スケジュールに遅れが生じないように調整が必要になることも多く、プロジェクトをコントロールすることの難しさを学びました。また、特殊な製造設備でもあることから、関係官庁への申請が大変多く、申請書類のチェックや修正を短い期間で実施しなければならないことも苦労した点のひとつです。一方で、製造プラントをゼロから建設することは

なかなか経験することができないので、とてもやりがいのあるプロジェクトだとも感じました。



## Q. 特にどんなことにやりがいを感じましたか？

私たちエンジニアは、普段、プラントの修繕業務が主な仕事ですが、今回の新たなプラントを建設するプロジェクトはこれまで積み重ねてきた業務の総集編のように感じられ、貴重な経験となりました。また、関係官庁へ申請する書類も工事の内容を熟知していないと理解することができません。そういった意味では製造プラントを真に理解することができる良い機会に巡り合えたと思います。



## Q. このプロジェクトを振り返ってみて今の気持ちを聞かせてください。

極めて多くの協力会社の方と一緒に大規模なプラントを建設しましたが、プロジェクトメンバーにも恵まれ、大きな事故もなく、スケジュール通りにプラントを完成させることができたことが何より

嬉しいです。無事に完成検査も終えてホッとしています。

また、実際にプラントが稼働して製品が世界中のユーザーへ届けられることを楽しみにしています。

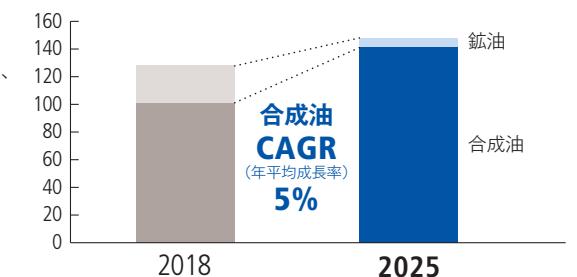
## 低環境負荷エアコンの需要の拡大に対応

中国・アジアを中心とした中間所得層の増加にともなうエアコン需要の伸びにより、冷凍機油原料の需要は年々拡大しています。また、冷凍機油原料の中でも、環境負荷の低い冷媒(R32等)と相性の良い合成油への切り替えが進んでいます。

このような動きは、日本・欧州に加えて、新興国においても広がっており、今後さらに加速していくと予測されます。

当社は、R32等に対応した冷凍機油原料(合成油)を世界中に供給しており、今後、さらなるシェア拡大を図ってまいります。

世界的エアコン販売台数と用いられる冷凍機油の種類別割合 (百万台/年)



出所：世界エアコン販売台数 (JARNをもとに当社推定)

## 会社概要／株式の状況 (2019年12月31日現在)

設立 2010年12月8日 (前身の協和油化(株)は1966年11月に設立)

資本金 8,822百万円

事業内容 各種石油化学製品の開発・製造・販売

従業員数 808名 (連結)

発行可能株式総数 136,200,000株 | 発行済株式総数 37,029,400株

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,241	11.45
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	2,627	7.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,379	6.43
東ソー株式会社	1,852	5.00
TAIYO FUND, L.P.	1,097	2.96
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,037	2.80
株式会社みずほ銀行	733	1.98
TAIYO HANEI FUND, L.P.	732	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	725	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	698	1.89

### 役員 (2020年3月26日現在)

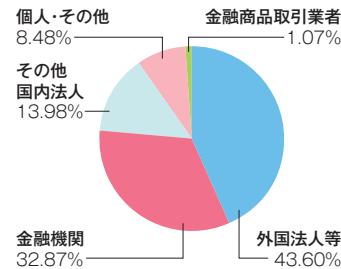
代表取締役社長 社長執行役員	高橋理夫	執行役員	斎藤誠司
取締役 常務執行役員	松岡俊博	執行役員	緒方利明
取締役 常務執行役員	新谷竜郎	執行役員	中橋彰夫
取締役 常務執行役員	濱本真矢	執行役員	近藤佳明
取締役 執行役員	磯貝幸宏	執行役員	清水英樹
取締役 (独立・社外)	宮入小夜子	執行役員	高橋功
取締役 (独立・社外)	土屋淳	執行役員	上村朗
取締役 (独立・社外)	菊池祐司		
常勤監査役	大戸徳男		
監査役 (独立・社外)	河合和宏		
監査役 (独立・社外)	田村恵子		

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
配当基準日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株式事務に関するご案内	
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券及びみずほ信託銀行 <b>フリーダイヤル 0120-288-324</b> (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行 (みずほ証券では取次のみとなります)

株主数 6,010名

### 所有者別株式分布状況



## KHネオケムの社会貢献活動

KHネオケムは地域の皆様から求められる企業であり続けるために、地域に根差した社会貢献活動を重要な施策の一つとして考えています。



### 「霞ヶ浦緑地」へのベンチ寄贈および補修・手すり塗装

当社は、世界のモノづくりを支える化学品素材メーカーとして、2017年より、地域に根差した新たな社会貢献活動をスタートさせました。活動3回目となる今回は、四日市市役所にご相談させていただき、当社四日市工場近隣の総合運動公園である「霞ヶ浦緑地」で、木製ベンチの寄贈と、当社事業とゆかりのある「塗料」を用いた活動を実施しました。

当日は全社から役職員とその家族、あわせて98名が参加し、当社製品が使用されている塗料を用いて、ベンチやガードパイプの補修や塗装をしました。



### 活動のその後～市原スポレクパーク～

2018年は、96名が集まり、当社千葉工場が所在する市原市の「市原スポレクパーク」でベンチの寄贈と塗装活動を行いました。

「市原スポレクパーク」は、「スーパーラグビー※」に参加する日本チーム「サンウルブズ」や、ラグビーW杯でのアイルランド代表の練習拠点となる等、ますます世界から注目される施設となっており、様々な機会でも多くの皆様にベンチが利用されています。

これからも、地域の皆様に喜んでいただけるような活動を継続してまいります。



※世界最高峰のラグビーリーグ。